

令和6年度 三股町立長田小学校 自己評価書・学校関係者評価書

【自己評価及び学校関係者評価の評価方法 4段階 A：期待以上 B：ほぼ期待通り C：やや期待を下回る D：改善を要する】

評価項目	評価指標	具体的な取組	学校評価アンケートの結果(保護者・児童・職員)										学校自己評価		学校評議員(学校関係者)評価				
			・令和7年1月上旬～2月中旬実施										回答者別	総合評価	評価内容	評価	評価内容		
			・回答数 保護者43名 児童57名 教職員11名																
			・回答種																
C	A	そう思う	B	どちらかといえばそう思う	D	そう思わない	E	分からない			○成果	●課題							
確かな学力の向上と定着	学力向上の指導の充実	1 個別最適な学び・協働的な学びの展開 ・NINO(3～6年)の研修と分析・活用 ・みまたん学習モデルの実施	保護者	A		B		C	E	45	41	6	2	E	6	A	○昨年度に引き続き、職員同士でICT活用に関する技能や情報を共有し、授業で活用することで、児童のICT活用能力も確実に向上している。 ○「立腰を意識して、授業の始まりと終わりに礼をする。」といった基本的な学習習慣の定着を意識して指導を重ねたことで、チャイム着席や立腰を意識して話を聞く力が定着している。 ○業間の時間を活用して、MIMを利用したの言語活動や学力向上について取り組むことで、児童の言語能力が向上し、学習内容が定着してきた。 ●学力の定着状況については、個人差がある。児童の個性を把握しながら、より適切な個に応じた指導について研鑽を深める必要がある。 ●若干名、自己評価が低い児童もいるので、称賛しながら、自己肯定感を高める指導を心がける。	A	○合理的に創意工夫をしながら児童の学力向上に努めている。 ○個人差はあるが、その児童にとって向上があればよい。 ○少人数なので、児童全員に対して、指導が行き届いている。 ○職員の児童に対する学力向上に向けた姿勢が素晴らしい。 ○児童のICT活用能力が向上している点を高く評価する。学力定着の個人差をどう埋めていくかということについて、今後、具体的な取組や効果に関する評価方法の確立を期待する。
	学習指導の工夫改善	2 学習指導の工夫改善 ・TPCの積極的活用 ICT活用の授業研究会 ・全学テ、県学テ、CRT等の結果分析と対策	保護者	A		B		C	E	49	36	9	0	E	6	A			
	基本的な学習習慣の定着	3 学習習慣の定着を図る指導 ・チャイム着席、立腰、家庭学習の指導 ・個に応じた家庭学習の指導	保護者	A		B		C		53	32	13	0	E	2	A			
	言語活動の充実と読書活動の推進	4 言語活動の充実 ・MIMの実施と活用 ・読書活動の推進(年間総読書量7000冊以上)	児童	A		B		C		46	40	12	0			A			
	職員			A		B		C		38	46	15	0			B			
積極的な生徒指導の展開と豊かな心の育成	基本的生活習慣の育成	5 基本的生活習慣の指導 ・日常指導(あいさつ、返事) ・生活指導週間の重点指導	保護者	A		B		C		51	26	21	0		2	A	○令和6年度は人権教育推進校に選出され、人権意識の向上と自己肯定感を高める指導方法について研究を重ねたことで、優しい言動を取ることができる児童が増えた。 ○月目標の指導や日常的な指導をととして、基本的生活習慣が定着している児童が多い。 ○地域の方や高齢者の方との触れ合いや人権に関する講話を開催したことで、児童一人一人に他者を思いやり、優しい心で接する力が向上した。 ●大きな声で自ら挨拶する児童もいるが、一人の時は適切な挨拶や会釈などの言動が取れない児童もいる。	A	○日常の生徒指導を徹底することで、生活態度がよく、心の教育が進められている。 ○みんな大きな声で挨拶をしてくれている。 ○自己肯定感を高める指導方法を実践し、児童に効果があらわれているので、これからも続けてほしい。 ○友達を思いやる心が育成されていると感じる。学校以外の人たちとの交流を通して、人の輪が更に広がることを楽しみにしている。
	きまりを守る態度の育成	6 きまりを守る指導 ・「よい子の一日」等の指導 ・学校生活における共通実践事項の指導	保護者	A		B		C		40	43	15	0	E	2	B			
	道徳教育の充実	7 特別の教科「道徳」の指導 ・道徳の時間の指導 ・具体的実践力の育成	保護者	A		B				47	36	9	0	E	6	A			
	体験活動の充実	8 豊かな心を育む体験活動の実施 ・校外学習、交流活動、地域人材の活用 ・校内における望ましい人間関係の醸成	保護者	A		B				46	44	3	0	7		A			
	児童			A		B				46	54	0	0	0		B			
	職員			A		B				31	69	0	0	0		B			
	基礎体力の向上	9 体育科学習・体育活動の充実 ・体育科学習の充実(体力向上プラン) ・体力向上の取組(長距離走、縄跳び等)	保護者	A		B		C		51	34	9	0	E	4	A			
	保健安全教育の充実	10 健康的な生活習慣の定着に向けた指導 ・「早寝早起朝ごはん」の啓発と定着 ・歯治療に関する家庭への啓発	保護者	A		B				56	36	4	0	E	2	A			
家庭・地域等との連携	学校教育活動の情報発信	11 各種通信等による発信 ・学校通信、保健だより・学級通信等の充実 ・参観日、学校行事等の工夫 学校HPの充実	保護者	A		B				58	32	4	0	E	4	A	○各種通信の配付や週に2回程度の割合で、学校ホームページ更新を行うことで、学校の情報を積極的に発信することができた。 ○家庭や地域の高齢者・施設等での交流活動をととして、児童が豊かな体験活動を体験することができた。 ●現在、PTA組織の在り方を模索している。学校と保護者、地域が更に連携を深めながら、より負担感が少なくなるPTA活動へつながるように協議・検討を重ねる必要がある。	A	○職員は保護者と連絡を密に取り合い、児童の育成に努めている。 ○PTAは学校や児童のために尽力している。 ○地域住民に対しても、学校便りを回覧して、情報の共有を図っている。 ○学校ホームページを見ることで、学校の様子が分かるので良い。 ○学校HP上での活動紹介が充実しており、学校の様子がよく伝わってくる。児童より豊かな教育環境を提供できるような、現状に即したPTAの在り方を検討してほしい。
	家庭・地域社会・関係機関との連携	13 地域の教育力の活用 ・地域人材、地域施設の積極的な活用 ・地域の高齢者クラブ等との交流(サロン等)	児童	A		B		C		52	33	13	0			A			
	PTA活動の活性化	14 PTA活動の活性化 ・PTA運営委員会の工夫改善 ・PTA活動、行事の工夫改善	職員	A		B				62	38	0	0			A			
	職場環境の改善	15 働きやすい職場環境の構築 ・やりがいと充実感を感じる職場づくり	職員	A		B				46	54	0	0			B			
人材育成	学校経営	16 風通しのよい職員室・校長室経営 ・チームで取り組む課題解決	職員	A		B				69	31	0	0			A			